

## <第1号議案>

# 2008年度事業報告書

## 1. 国際交流の機会提供及び参加促進事業

### (1) 多文化共生講座の開催

事業名称＝ハロハロ☆ikoryu～知ってみよう・やってみよう・異文化!

目的＝①外国人市民たちの個性豊かな文化や生活を、地域住民と一緒に体験交流する機会を提供し、外国人市民と日本人市民の相互理解を促進する。

②外国人市民同士をつなげ、交流する場を提供し、地域で安心して暮らせる環境の整備を促す。

③多文化共生・国際化に取り組む行政やNPO関係諸団体との連携を図る。

後援団体＝生駒市、生駒市教育委員会、奈良・在日外国人保護者の会生駒

参加人数＝553名（全3回延べ人数）

内容＝7月13日(日) チェコ day 「チェコ」ってどんな国? 参加人数 48名  
南コミュニティセンター 302・303

9月7日(日) 日本 day 日本文化に親しもう! 参加人数 65名  
図書会館 和室・研修室

12月14日(日) 第2回 ikoryu 音楽祭 参加人数 380名  
コミュニティセンター文化ホール

2009年3月8日(日) ベトナム day ベトナム料理で交流 参加人数 60名  
北コミュニティセンター 調理室・研修室

### (2) 多文化共生教育推進事業

事業名称＝ハロハロ☆デテイクラブ & ハロハロ☆ミーティング

目的＝豊かな感性を持つ子どもたちが、人種、民族、言語、宗教、文化などの壁を乗り越え、互いの違いを認め尊重し合い、自尊感情を育む教育活動。

①多様な母語・文化・背景を持つ子ども同士の出会いと交流の場

②地域の子どもたちの多文化共生教育の場

③外国人保護者が子どもと一緒に参加し、なんでも話し合える場

日時＝6月14日 7月12日 9月6日 10月11日 11月8日 12月13日

2009年2月14日 3月14日 全8回 13時～15時

場所＝南コミュニティセンターせせらぎ

参加人数＝子ども121名（全8回延べ人数）

国籍・ルーツ＝中国・コリア・ロシア・チェコ・インドネシア・日本

内容＝メイン活動＋世界のゲームや遊び、絵本の読み聞かせ、

メイン活動 ①創作小物づくり ②手品あそび ③アंकフルン演奏

④手作りビンゴゲーム ⑤世界のことばごあいさつ

⑥ビッグ折り紙 ⑦レターケースづくり ⑧映画アース鑑賞

## 2. 国際理解及び国際化に関する啓発・研修事業

### (1) 第7回子ども国際交流の集い「わいわいワールド」

主催＝生駒市教育委員会（市民実行委員会により運営）

実行委員市民：日本、韓国、中国、台湾、チェコ、インドネシア、  
アメリカ・カナダ、ニュージーランド 以上9カ国市民

日時＝11月22日(土) 10時～1時

場所＝図書会館市民ホール

参加人数＝小学生約120名(内、外国人市民の子ども約30人)

内容＝外国人市民の各ブースを回り、子どもたちが体験学習する

#### (2) いこまどんどこまつり出店

日時＝8月4日(土) 場所＝健民グラウンド

販売品＝当てもの(1回100円×300回分準備)

#### (3) 講師派遣事業 5回

### 3. 国際交流に関する情報の収集及び提供事業

#### (1) ニュースレター『国際交流いこま』の発行 発行部数800部 年4を目標にして、現在14号まで発行

発行日：2008年8月20日、11月15日、2009年2月15日、5月30日

対象：会員、市内公共施設、関係団体(発送件数210件)

#### (2) ホームページの管理・運営 <http://www.ikoryu.net>

#### (3) 各種研究会・研修会への参加

##### ① 「多民族共生教育フォーラム2008」への参加

日時＝11月23日(日) 場所＝御堂会館

参加人数＝3人

##### ② 「ワンワールドフェスティバル」への参加

日時＝12月20・21日(土・日) 場所＝大阪国際交流センター

参加人数＝6人

##### ③ 災害時における外国人支援研修会に参加 主催：奈良県、NIF S

日時＝2009年2月12日(木) 場所＝奈良県公会堂

参加人数＝2人

### 4. 国際交流に対する調査及び研究並びに受託事業

#### (1) ikoryu 音楽祭の開催(再掲)

総事業費＝356,248円(自治体国際化協会＝生駒市国際化推進事業補助金28万円)

日時＝2008年12月14日(日) 午後1時～4時

場所＝生駒市コミュニティセンター 文化ホール

内容＝1部 プロ級の方から子どもたちまで、それぞれ得意な楽器や歌、踊りを披露する発表会

2部 参加者全員で歌って踊る大交流会

出演者＝10カ国・地域、19グループ・個人が出演

モンゴル・ブラジル・中国・韓国・西アフリカ地域の民族楽器の演奏  
原語での独唱や合唱、ハーモニカ・ギター演奏、フラダンスやニュージーランド、インドネシアなどの民族舞踊

参加人数＝観客200人、出演者150人、ボランティア30人 総人数380人

## (2) 防災リーフレットの作成（生駒市まちづくり活動支援事業補助金事業）

事業名称＝

多文化共生のまちづくり～みんなでつくろう「防災安全いこマップ」(多言語版)

総事業費＝501,822円(生駒市まちづくり活動支援事業補助金50万円)

タイトル＝生駒市防災ナビ～わが家の防災・安全「いこマップ」

(英語・中文・ハングル・にほんご)

A2版 両面カラー刷り 3,000部

実施内容＝

### 1. 制作会議の開催

事務局5人と会員7人で構成。9月から2週間に1回のペースで開催。

記載内容の検討及び外国人市民向け防災対策の調査・研究。

場所＝中央公民館、ららポート

### 2. ボランティア会議の開催

通訳・翻訳と一般ボランティアを広報「いこま」と自治会回覧板を通して公募。

登録者数＝23人(20代から70代まで各世代老若男女が登録)

(英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語

ウルドゥー・ベンガル・ヒンドゥー語・チェコ語・ロシア語)

会議日時＝2008年12月3日(水)、12月20日(土)、2009年2月7日(土)

場所＝中央公民館、ららポート

### 4. 防災アンケートの実施(外国人市民対象)及び報告書の作成

実施方法＝5言語(英語・中国・ハングル・やさしい日本語・ポルトガル語)

でアンケート用紙を作成し、関係機関・団体・個人に配布・回収。

期 間＝2008年10月1日～2009年2月28日

対 象＝生駒市及び周辺地域の外国人市民

回収人数＝153人

### 5. 子育て情報スペース「ハロハロ☆ミーティング」の開催

目的＝子ども多文化共生教育事業「ハロハロ☆デティクラブ」の中で、多言

語による子育てに関する情報提供や相談体制を整え、外国人保護者た

ちの生の声を防災ナビに反映する。全6回開催

場所＝南コミュニティセンターせせらぎ302

参加総数＝18人(中国・台湾・韓国・インドネシア・チェコ・ロシア)

ボランティアスタッフ＝2～3名(各回)

事業の成果＝

- ①言葉の壁や情報不足で、地域社会で孤立しがちな外国人市民が、地域で安心して生活できるまちづくりの一環として、生駒市と協働で作成できた。
- ②ボランティアを公募することによって、国際交流・多文化共生活動に参加する市民の輪が広がり、翻訳・通訳ボランティア登録制度を整備できた。
- ③子育て情報スペース「ハロハロ☆ミーティング」の開催により、母語による子育てに関する情報提供や相談できる場を作り、外国人保護者たちの生の声を防災ナビ作りに反映することができた。
- ④地域との連携(学校園、自治会、商工会議所など)により、外国人市民との共

生のまちづくりの契機を作ることができた。

## 5. 市民、NPO、行政との協働・ネットワークの推進

### (1) 行政との連携

#### ① 生駒市まちづくり活動支援事業補助金事業（再掲）

市テーマ設定型協働事業

「国際交流に関すること」（多文化共生のまちづくりの推進を目指す事業）

事業名称：地域で育む多文化共生「防災・安全・生活マップ」をつくろう

#### ② 生駒市市民活動推進センターへの登録

連絡調整懇話会への参加

#### ③ 行政が行う委員会や会議等への参加

・生駒市市民自治検討委員会 委員

・生駒市人権施策審議会 委員

### (2) NPO団体との連携

○(特活)地域活動支援センターぶろぼの

○(特活)奈良NPOセンター

○(特活)関西国際交流団体協議会 ワン・ワールドフェスティバル（12/20・21）

### (3) 生駒市の多文化教育・日本語教室の充実・発展を求める市民連絡会への参加

多文化共生教育推進事業は、2009年度も継続事業として存続。

### (4) 奈良県・外国籍教員の採用を実現する連絡会への参加

近畿で唯一、奈良県は外国籍教員の採用実績ゼロ。

## 6. 役員・理事会・事務局会議の開催

### (1) 2008 総会の開催

日時＝2008年7月13日(日) 午後1時～2時40分

場所＝南コミュニティセンターせせらぎ301

出席人数＝38名（うち委任状出席23名）

### (2) 理事会の開催

日時＝2008年4月12日(金) 午後2時～4時

場所＝南コミュニティセンターせせらぎ 303号室

出席人数＝6名

日時＝2009年6月22日(月) 午後7時～9時

場所＝西川工務店会議室

出席人数＝5名

### (3) 事務局会議の開催 全10回開催

会議の定例化 毎月第2月曜日 午後7時～9時